

調布市民のみなさん

このニュースは、毎月11日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。

今日は、フクシマ原発事故（東日本大震災）から満15年の3月11日（水）に行なった「第159回行動」の報告と、4月11日（土）に予定する「第159回行動」のご案内をお届けします。
(編集者)

フクシマ原発事故から15年 避難者いまだに2万5千人

ウクライナとロシアの死傷者140万人 パレスチナとイスラエルの死傷者24万人

いのち粗末にする軍拡・原発に明日はない

第159回「原発ゼロ」調布行動

代々木での8500人集会に呼応して90人が参加



この行動の4日前の土曜日（2月7日）に代々木公園で開催した「止めよう原発！全国集会」は、戦争と原発事故への反省を踏みにじて暴走する高市政権に、強い怒りと危機感を抱いている国民・市民が8500人結集しました。

フクシマ事故から満15年お迎えた3月11日（水）、10時半から調布駅前で行なった第159回「原発ゼロ」調布行動は、代々木での熱気にも呼応して、久々に90人のみなさんが参加しました。小選挙区制による自民党議席の極端な膨張に不安と怒りを抱え、氷雨を衝いて70人が参加した先月の行動に続いて、立ち上がる力を確認しあった行動でした。

今回は「新婦人・調布支部」のみなさんが進行を担当。道行く人に呼びかけるビラ、参加者に呼びかける「活動募金」袋などを準備して臨みました。司会は任海ユリさん、スピーチ調整は大松由紀子さん、記録は秋山秀子さん、大橋美知子さん、写真はむらき数子さん、音響装置とハンドマイク準備は鈴木勝雄さんらが受け持ちました。



◆司会 任海ユリさん

今日は東日本大震災、福島原発事故から15年目。第159回

「原発ゼロ」調布行動を歌声からはじめましょう。

◆♪ 早春賦・群青 東北人 鈴木勝雄さん 小林優さん

◆お知らせ 大松由紀子さん 「とめよう原発3.7全国集会」が代々木公園であったので参加して、プラカードをもらってきた、最後にそれを皆さんに持っていただいて、調布からも「原発ゼロ」を発信しましょう。

参加呼びかけのちらしも準備しました。通行人や周りの方に配布をお願いします。年に一度のキャンパの協力もお願いします。



◆中津さん(土建) 1月に福島に初めて訪問。街の中はきれいに整備されていたが、そのままの地域もあり、除染の問題もあって帰りたくても帰れない地域もまだある。一人ひとりが何ができるか考えていくことが大事。

◆佐野さん(土建) 義援金を届けに行ってきた。百聞は一見に如かずの言葉どおり、事故を実感出来てよかった。

◆河野良彦(布田)さん 原発は人類の使ってはいけない技術。原子力は失敗が許されない技術。水素爆発が起きたら東日本は住めない状況になると心配したと、吉田元所長の言葉。ウクライナチェルノブイリがドローンで攻撃を受けた。原発は戦争・テロに一番弱いもの。あってはならない。



◆♪ 杉崎哲夫(国領)さん 原発が安全というのはうそ。

◆森(染地)さん 一緒に「福島をくり返すな」を歌う。原発を許さない気持ちを込めて、「私たちは許さない」を歌う。原発をなくそう！

◆松本加代子(佐須)さん 3・1ピクニデーに行って、分会会は「原発ゼロ」に参加した。浪江町は9割住めない。今までの暮らしてきた豊かな暮らしを根こそぎ奪われ、生きていく気概を奪われた。福島は終わっていない。新潟、世界最大の発電所柏崎刈谷原発の闘い。データ改竄、他人のIDカードで入室、制御棒の劣化、雪国の事後避難は困難、どう考えても再稼働はあり得ない。県民1千万あまりの反対署名にもかかわらず、再稼働の圧力は許しがたい。中部浜岡原発ではデータの捏造が外部告発で発覚した。



◆沼倉潤(多摩市)さん 今日も14時から経産省前で抗議行動をする。14日土曜日多摩センターで集会をする。柏崎原発の地質調査をしているが新潟沖の調査データが違う。5月16日土曜東電問題の学習会を行う。

◆♪ 森(染地)さん この集会に初めての参加。修学旅行で広島に行った。一回の原爆でたくさんの死者が出たことを学んできた。原爆はあってはならない。「永遠の愛」を歌う。

◆鈴木ヒデヨ(国領)さん 2016年から駅前広場の木を切る計画に反対の運動を続けてきた。105本の3分の一が残った。市との対話を重ね、市民の粘り強い運動だった。このひろばで行う原発集会に大勢の人が集まり感慨深い。



◆♪ 蔵貫隆子(深大寺)さん 7日の全国集会には8千5百人が、原発なくせ、憲法守れと代々木公園に集まった。日本国憲法前文の朗読。前文を大事にして戦争を起こさない日本にしていましよう。「日本国憲法」を歌う。

◆和泉(多摩川)さん イラン、ガザ、で子どもたちが殺されている。日本にも福島原発難民がいることを忘れない。子どもたちの訴えを伝えていこう。自作プラカードで訴えている。

◆鈴木彰(多摩川)さん 今日の参加は90人。あふれかえる人びと、歌あり、多様な発言ありで、豊かな内容の行動になった。先の選挙の結果を受けて、危機感を持ち「何かしよう」という動きが、調布でも、全国でも起こってきていると実感した。国民の命をいい加減に扱う動きをストップさせよう。

◆♪ 東北人の歌と共に参加者集合してプラカード持つての記念写真(冒頭の写真です)

第160回「原発ゼロ」調布行動

日時：2026年4月11日(土)

10時半～11時半 於：調布駅前

次回は4月11日(土)。福島原発事故から15年と1カ月、「調布行動」は第160回目という節目を迎えます。3月と4月の企画・進行・司会は「新婦人・調布支部」のみなさんが受け持ってくれています。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言ってやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとこと」を！

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

*小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

なお、今後の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそはというグループは、ぜひとも名乗り出て、輪番に加わってください。「1回だけ受け持ってみよう」というグループも大歓迎です。

159～160回	(2026年 3～ 4月)	新婦人
161～162回	(2026年 5～ 6月)	@ちょうふ
163～164回	(2026年 7～ 8月)	調狛合唱団有志
165～166回	(2026年 9～10月)	アネモネ
167～168回	(2026年11～12月)	年金者組合